

製品名: スタスミン 1 (10E8) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe18370

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	17kDa

抗原情報

遺伝子名	STMN1
別名	LAG; LAP18; Leukemia-associated gene protein; Metablastin; Oncoprotein 18; Op18; Phosphoprotein p19; pp17; pp19; PR22; Pr22 protein; Prosolin;SMN;Stathmin1;STMN1;
遺伝子 ID	3925.0
SwissProt ID	P16949
免疫原	ヒトスタスミン 1 の合成ペプチド

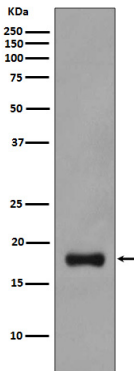
背景

微小管を不安定化させることで、微小管フィラメントシステムの制御に関与する。微小管の集合を阻害し、分解を促進する。Ser-16のリン酸化は、神経新生における軸索形成に必要である可能性がある。学習性および生得的な恐怖の制御に関与する。微小管を不安定化させることで、微小管フィラメントシステムの制御に関与する。微小管の集合を阻害し、分解を促進する。Ser-16のリン酸化は、神経新生における軸索形成に必要である可能性がある。学習性および生得的な恐怖の制御に関与する（類似性による）。

研究分野

神経科学

画像データ



PC-12 細胞溶解物中の Stathmin 1 発現のウェスタン ブロット分析。